

各 位

会社名 トーイン株式会社
 代表者名 代表取締役社長
 CEO 兼 COO 春 公明
 (コード番号 7923)
 問合せ先 取締役 常務執行役員 坂戸 正朗
 経営企画統括
 電 話 03-5627-9111

**営業外費用（為替差損）の減少 及び
 業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ**

下記のとおり営業外費用（為替差損）が減少することになりましたのでお知らせいたします。

また、それらの影響を加味した最近の業績の動向等を踏まえ、平成 28 年 10 月 31 日に公表しました平成 29 年 3 月期通期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の減少について

平成29年3月期第3四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年12月31日）において、為替差損105百万円を計上いたしましたが、その後の為替相場の変動により、平成29年3月期の為替差損は4百万円に減少いたしました。

2. 業績予想の修正について

平成29年3月期通期連結業績予想値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当り 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,000	50	△ 60	0	0.00
今回修正予想（B）	10,959	△104	△127	△ 16	△ 3.16
増減額（B－A）	△ 40	△154	△ 67	△ 16	
増減率（％）	△ 0.4	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	11,321	△ 171	△ 225	△ 230	△ 42.15

修正の理由

売上面につきましては、包装資材事業においては、海外子会社の売上が増加したものの、精密塗工事業において情報端末向け部材の需要に回復がみられなかったことなどにより平成28年10月31日に公表した予想値（以下、「前回予想」）を若干下回る見込みであります。

利益面につきましては、営業利益は、全体的に前年比で改善傾向にあるものの、包装資材事業において、商品構成の変化に伴い利益率が低下したことや一部の生産設備

故障の影響を受け、生産量を確保するために外注対応したことなどで製造コストが増加し採算性が悪化したことにより想定した利益を確保できなかったことと、精密塗工事業において、売上高が減少したことにより前回予想を下回る見込みであります。経常利益と親会社株主に帰属する当期純利益は、上記1に記載のとおり為替差損が大幅に減少したものの営業利益が減少したことでそれぞれ前回予想を下回る見込みとなりましたので修正いたします。

3. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成28年5月13日発表)	—	—	—	10.00	15.00
今回修正予想	—	—	—	7.50	12.50
当期実績	—	5.00	—		
前期実績 (平成28年3月期)	—	5.00	—	7.50	12.50

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益配分につきましては、経営の重要課題の一つと認識しており、業績、将来の事業展開及び財務の健全性等を勘案しつつ、安定的な利益還元を基本方針としております。

しかしながら、上記「業績予想の修正について」に記載いたしましたとおり通期の業績が、前回発表の予想数値より減益となったことに伴い、誠に遺憾ではございますが、期末配当金は1株当たり7円50銭にさせていただきます。

以 上